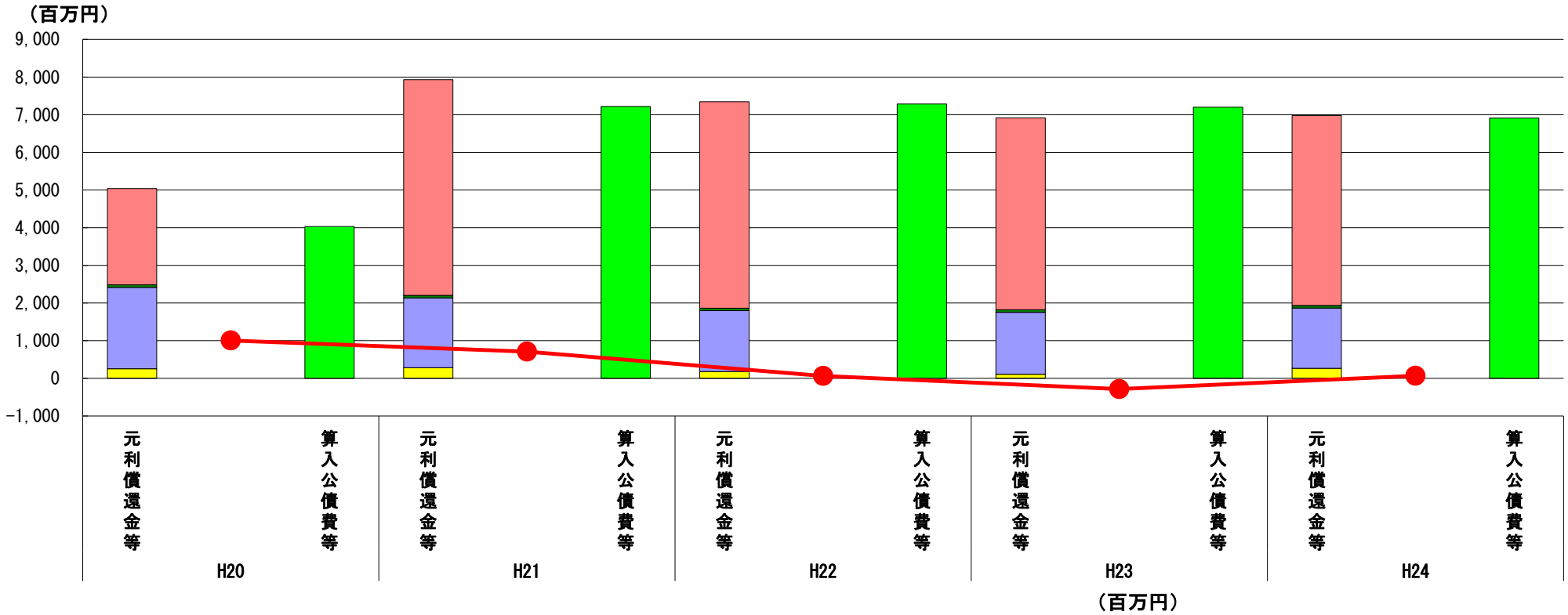


(7) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成24年度

神奈川県鎌倉市



分子の構造		年度	H20	H21	H22	H23	H24
元利償還金等 (A)	元利償還金		2,555	5,729	5,483	5,093	5,045
	減債基金積立不足算定額		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		67	67	67	67	67
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		2,159	1,854	1,614	1,645	1,601
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		-	-	-	-	-
	債務負担行為に基づく支出額		256	281	183	108	267
	一時借入金の利子		-	-	-	-	-
算入公債費等 (B)	算入公債費等		4,033	7,220	7,285	7,197	6,912
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		1,004	711	62	▲ 284	68

分析欄

債務負担行為に基づく支出額は増額したものの、算入公債費等は減額しており、実質公債費比率の分子は平成23年度に比べて増額したが、3カ年平均では改善している。

※平成20年度決算の元利償還金は特定財源の額を控除しており、満期一括償還地方債に係る年度割相当額は減債基金積立不足算定額を含んでいる。
 ※平成21年度決算以降の算入公債費等は特定財源の額を含んでいる。
 ※平成25年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。